

平成 22 年 1 月  
四国電力株式会社

## 伊方発電所第 3 号機 漏えい燃料の調査状況について

### 1. 経緯

伊方発電所第 3 号機は、昨年 11 月 19 日、1 次冷却材中の放射性希ガス（キセノン）濃度が通常値の 5 倍程度に上昇していることが確認されたことから、1 次冷却材中の放射能濃度の監視を強化し運転していた。（放射性よう素濃度は、3 号機の運転上の制限である  $3.2 \times 10^4 \text{ Bq/cm}^3$  に対して通常値の約  $0.2 \text{ Bq/cm}^3$  で変化なし）

本年 1 月 7 日、第 12 回定期検査のために原子炉停止操作中、1 次冷却材中のよう素濃度が通常値よりも高い約  $0.5 \text{ Bq/cm}^3$  が確認された。

### 2. 調査状況

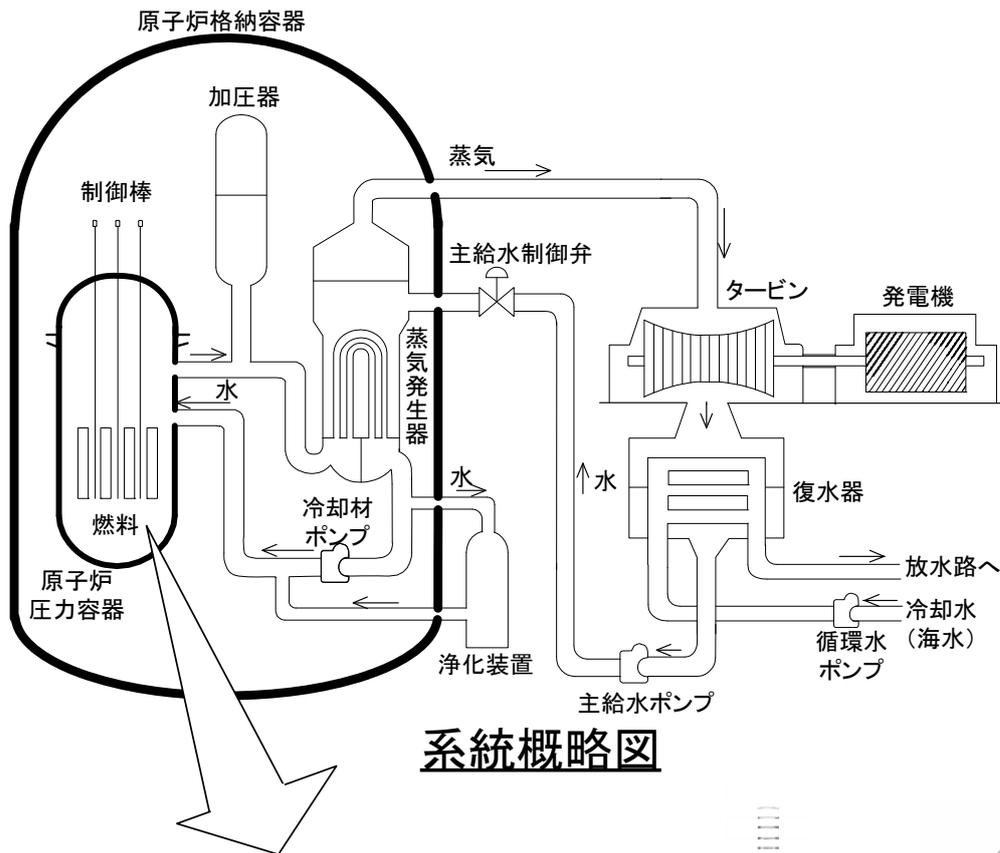
1 月 17 日から 22 日の間、原子炉より取り出した燃料全数（157 体）について、予め定めた手順に従い、燃料を 1 体ずつ専用の検査容器に入れ、燃料からの漏えいを測定（ SHIPPING 検査）した。その結果、漏えい燃料 1 体を特定し、その他の燃料には漏えいがないことを確認した。

漏えいが認められた燃料は、今後使用しないが、平成 17 年 3 月から使用を開始した燃料であり、十分に燃焼していることから、今回の定期検査において使用済燃料とする予定のものであった。

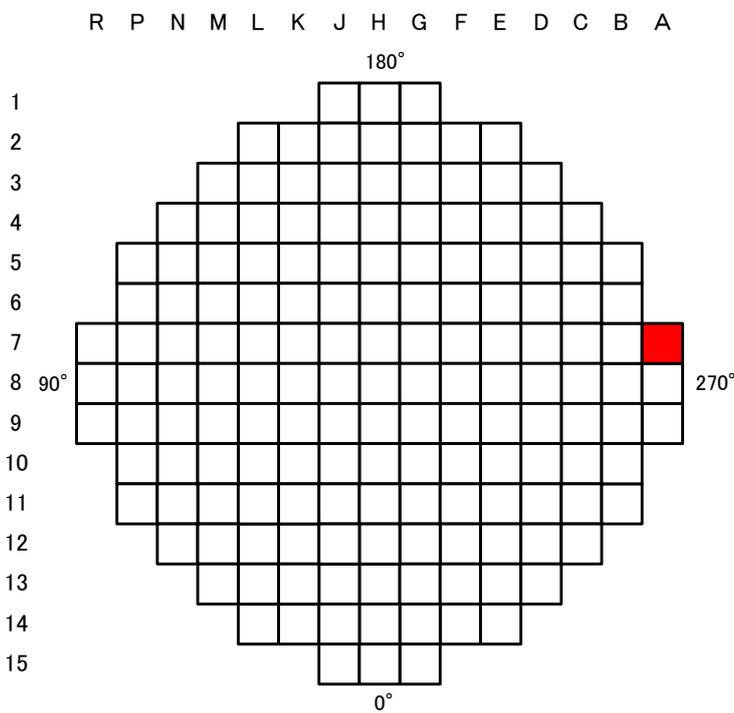
今後、当該燃料の詳細調査、運転履歴調査、取扱い履歴調査等を進めていく。

以 上

# 伊方発電所3号機 漏えい燃料について

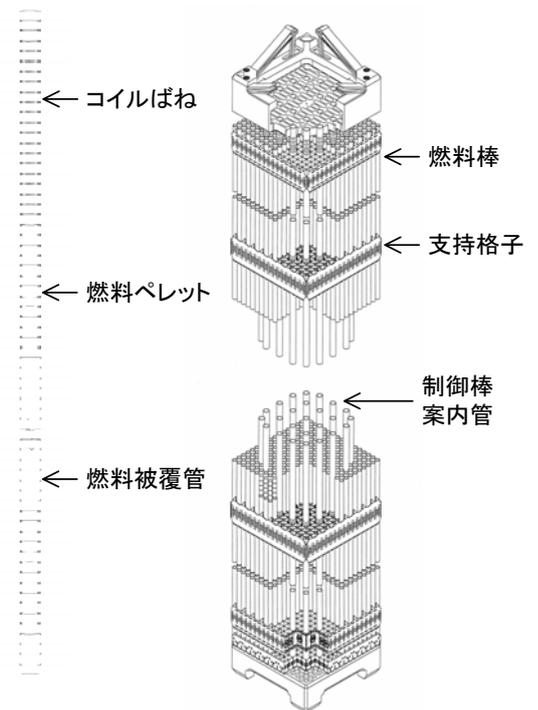


系統概略図



■ 当該燃料装荷位置

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 燃料タイプ | ステップ2高燃焼度燃料(4.8wt%)<br>(ガドリニア入り) |
| 製造時期  | 平成16年5月                          |
| 装荷時期  | 平成17年3月~平成22年1月<br>(4サイクル使用)     |



燃料概略図

燃料の仕様

|       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 燃料タイプ | 17×17型 |           |
| 全長    | 約4m    |           |
| 全幅    | 約21cm  |           |
| 支持格子数 | 9個     |           |
| 燃料被覆管 | 材質     | ジルコニウム基合金 |
|       | 外径     | 約9.5mm    |
|       | 肉厚     | 約0.6mm    |